

# 平成14年度未踏ソフトウェア創造事業 ネットワーク型映像制作ソフトウェア群の開発

開発者

稲蔭 正彦

木下 考二

斉藤 賢爾

玉山 武

根津 智幸

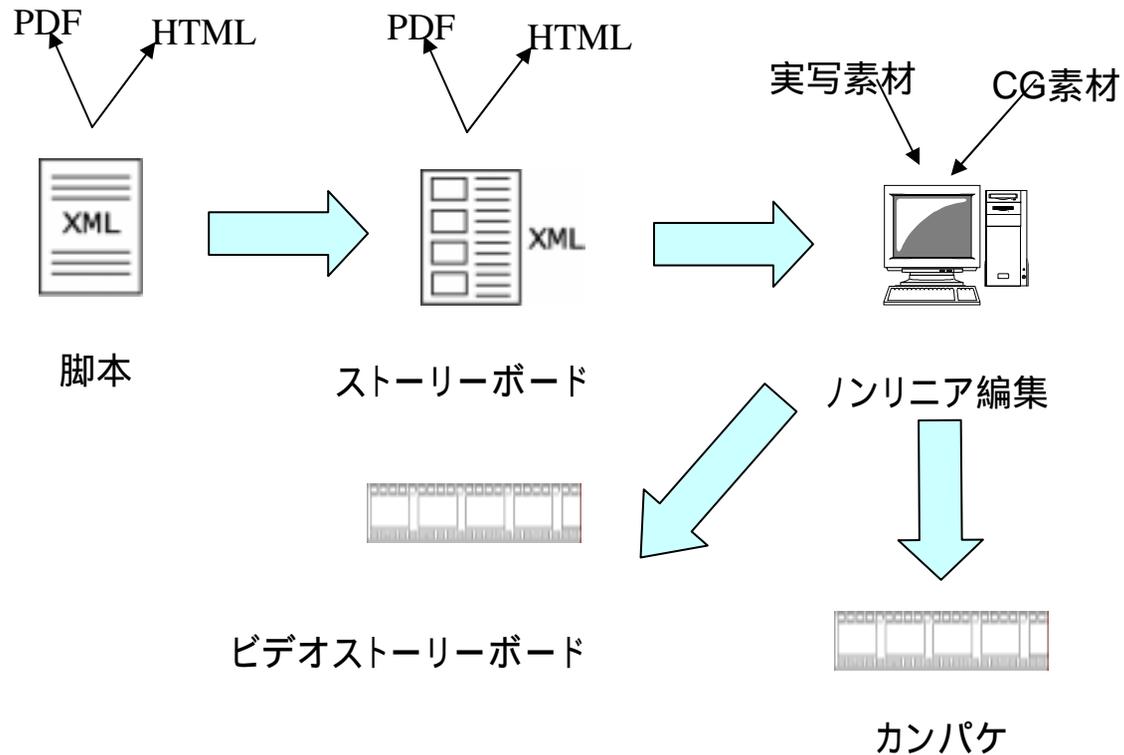
森 恭隆

# 概要資料(1)

- XMLによる記述言語で脚本を書くことで、その後のストーリーボード、ノンリニア編集までをトータルに扱うことができる。

- また、XMLで記述してあるため、PDFやHTMLなどへの変換も容易である。

- ノンリニア編集ソフトが脚本・ストーリーボードデータを読み込むことができるため、脚本を見ながらストーリーボードを作成したり、作成したストーリーボードからビデオストーリーボードを作成したりなどが容易にでき、また、ストーリーボードの素材を実際の映像に置き換えていくことで最終的な作品を作ることができる。



# 概要資料(2) 分散バージョン管理モデル

- 分散ハッシュテーブル方式を用い、各ピアが持つデポに格納される内容を拡散させる。バージョン管理されるべきファイルの識別子からハッシュ値を計算し、その値に対応するノード上のデポのみにそのファイルの変更履歴を置く。
- 各ピアが等しいデポのコピーを持つ。
- 
- [更新の順序を決定するアルゴリズム]
  - 対象となるファイルの内容が一致する場合、両者は区別しない。
  - 対象となるファイルの指紋を MD5等の一方向ハッシュ関数(システム毎に一意)により算出し、値の大きい方を採用する。
  - 稀に、ハッシュ値が一致する場合は、その旨を記録するマークを付け、参照される際にはユーザに警告する。

